

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX328／経済地理学2 (Economic Geography 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	都市システム論 中枢管理機能		
担当者名 (Instructor)	藤本 典嗣(FUJIMOTO NORITSUGU)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX2410	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

経済地理学では、都市の成長をどのように捉えているのか、また、都市の成長・衰退は、何によって起こるのかを理解でき、説明できる水準になること。

To be able to understand and explain how economic geography is used to view the growth of cities and what causes cities to grow and decline.

授業の内容 (Course Contents)

経済地理学1において学んだ立地論をもとに、一定の「人口・産業が一定区域内に高密度で集在し」、「周辺地域から人・モノ・カネ・情報が向かって集まる中心性を持つ地点」として都市を捉えていきます。その上で、なぜ、特定地域に人口・産業が集まり、都市が形成されていくのか、そのメカニズムについて、経済地理学の分析手法、なかでも、都市システム論を用いながら明らかにしていきます。

Based on the location theory learned in Economic Geography 1, this course will look at cities as “a place where a set number of people and industries are densely concentrated within a set area” and as a “point with centralizing function that draws in people, goods, money, and information from surrounding areas.” Further, economic geography analysis techniques, in particular city system theory, will be used to examine why populations and industries gather in specific regions, how cities form, and their mechanisms.

授業計画 (Course Schedule)

1. 経済地理学における都市研究
2. 都市化について
3. 都市研究のアプローチ
4. 構造分析からみる都市立地
5. 都市経済の特徴
6. 中枢管理機能の立地
7. 行政システムとオフィス立地1—国土レベル
8. 行政システムとオフィス立地2—地方ブロックレベル
9. 行政システムとオフィス立地3—県土レベル
10. 素材型産業における工場・オフィスの立地
11. 建設業における工場・オフィスの立地
12. 交通と地域
13. 空間政策—国土計画・ランドデザイン
14. 地域政策・地域計画

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

指定されたテキストは、授業前に講読しておくことが望ましい。また、各章の章末に課題があるので、授業前に考えておくことが望ましい。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)/授業内テスト(25%)/最終レポート(Final Report)(25%)
出席も重視するので、授業には出席すること。

テキスト (Textbooks)

1. 藤本典嗣、2017、『都市地理学』、中央経済社 (ISBN:978-4-502-22741-7)

参考文献 (Readings)

授業でその都度、紹介する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)